

(様式②-1) 令和2年度事業計画書(局・統括本部)

[環境創造局 みどりアップ推進課]

事業名
1款 2項 3目
まちなかでの緑の創出・育成事業

特記事項
中期計画-38の政策
中期計画-行政運営
中期計画-財政運営
新規・拡充

中期計画-38の政
政策番号 主な施策番号

令和元年度 事業評価書 番号	
令和元年度 事業評価書 番号	

(単位:千円)

区分	金額	財源内訳				一般財源等	
		国	県			市債	一般財源
2年度	147,055	0					147,055
補助事業 単独事業		補助率	%				
元年度	95,855						95,855
増△減	51,200	0	0	0	0	0	51,200

歳出	28年度	29年度	30年度
予事業費	-	-	278,161
算 市債+一般財源	-	-	278,161
決 事業費	-	-	217,381
算 市債+一般財源	-	-	217,381

歳出	3年度	4年度
予 事業費	147,055	147,055
算 市債+一般財源	147,055	147,055

方針に関する決裁 種別)
有 () ・無

【事業の目的・必要性及び令和2年度実施内容】

多くの市民の目にふれる場所での緑化や目にする機会の多い街路樹を良好に育成するための取組や地域で古くから親しまれている名木古木の保存など、市民が実感でき、生物多様性の保全に寄与し、地域の良好な景観形成や賑わい創出につながる緑の創出・育成を推進します。

- 公共施設・公有地での緑の創出・育成
各区の主要な公共施設・公有地において、緑を充実させる取組を推進します。
また、充実を図った公共施設・公有地の緑を良好に維持管理します。
- シンボリックな緑の創出・育成
○ 公開性のある緑空間の創出支援
多くの人が訪れる場所における、公開性のある緑化などを行う市民・事業者に対し、その費用の一部を助成します。
- 建築物緑化保全契約の締結
緑の環境をつくり育てる条例や緑化地域制度等に定める基準以上の緑化を行い、保全することに対し、建築物所有者(管理者)の建築物の敷地に対する固定資産税・都市計画税を軽減します。
- 名木古木の保存
地域住民に古くから町の象徴として親しまれ、故事、来歴等のある樹木を、保存すべき樹木として指定します。
また、指定木の維持管理に必要な樹木の診断や治療及びせん定等の維持管理費用の一部を助成します。

【実績及び今後見込み】 ※1款1項3目「まちなかでの緑の創出・育成事業」との合計

(1) 公共施設・公有地での緑の創出・育成	27年度実績	28年度実績	29年度実績	30年度実績	元年度見込	2年度見込	3年度見込
各区公共施設	22	18	19	25	7	7	7
創出した緑の維持管理	推進	推進	推進	推進	推進	推進	推進
(2) シンボリックな緑の創出・育成 ○ 公開性のある緑空間の創出支援	元年度見込	2年度見込	3年度見込				
緑化の助成(件)	推進	推進	推進				
(3) 建築物緑化保全契約の締結	27年度実績	28年度実績	29年度実績	30年度実績	元年度見込	2年度見込	3年度見込
緑化保全契約(件)	7件	4件	0件	2件	推進	推進	推進
(4) 名木古木の保存	27年度実績	28年度実績	29年度実績	30年度実績	元年度見込	2年度見込	3年度見込
新規指定(本)	17	9	33	32	推進	推進	推進
助成交付(本)	47	43	62	96	推進	推進	推進

【事業費の内訳】

	元年度	2年度	差引	説明
(1) 公共施設・公有地での緑の創出・育成	87,000	138,000	51,000	整備費の増
(2) シンボリックな緑の創出・育成 ○ 公開性のある緑空間の創出支援	4,005	4,205	200	事業周知用リーフレット作成のための増
(3) 建築物緑化保全契約の締結	1,000	1,000	0	
(4) 名木古木の保存	3,850	3,850	0	
合計	95,855	147,055	51,200	

【事業スケジュール】

- 公共施設・公有地での緑の創出・育成：事業実施(通年)、事業説明会(8月)、予算取りまとめ(9月)、実績報告(3月)
- シンボリックな緑の創出・育成
○ 公開性のある緑空間の創出支援：受付(4~1月)
- 建築物緑化保全契約の締結：受付(通年)
- 名木古木の保存：助成受付(通年)、新規指定受付(4~11月)、指定調整会議(12月)

【事業開始年度】

- 街路樹による良好な景観の創出・育成：平成21年度(いきいきとした街路樹づくり)
- シンボリックな緑の創出・育成
○ 公開性のある緑空間の創出支援：令和元年度
- 建築物緑化保全契約の締結：平成21年度
- 名木古木の保存：昭和46年度

【根拠法令】

- 緑の環境をつくり育てる条例、緑の環境をつくり育てる条例第4条の施行に関する基準
- シンボル：緑空間の創出支援：横浜市公開性のある緑空間の創出支援事業要綱
- 横浜みどり税条例
- 横浜市名木古木保存事業要綱

【根拠とするデータ等】

横浜みどりアップ計画(計画期間：平成26-30年度) 5か年(平成26-30年度)の事業・取組の評価・検証(2019年6月)

本資料は、公正・適正に作成しました。	課長	係長	緑化推進担当
	坂井和洋	井上雅人 ほか	石井久美子 ほか

（様式②-1） 令和2年度事業計画書（局・統括本部）

「環境創造局 みどりアップ推進課」

事業名		
1	2	3
市民や企業と連携した緑のまちづくり事業		

特記事項	
中期計画-38の政策	○
中期計画-行政運営	
中期計画-財政運営	
新規・拡充	

中期計画-38の政	
政策番号	主な施策番号
政策9	3

令和元年度 事業評価書 番号	
令和元年度 事業評価書 番号	

（単位：千円）

区分	金額	財源内訳				一般財源等	
		国	県			市債	一般財源
2年度	63,680	0					63,680
補助事業 単独事業		補助率	%				
元年度	53,680						53,680
増△減	10,000	0	0	0	0	0	10,000

歳出	28年度	29年度	30年度
予 事業費	-	-	8,835
算 市債+一般財源	-	-	8,835
決 事業費	-	-	3,569
算 市債+一般財源	-	-	3,569

歳出	3年度	4年度
予 事業費	63,680	63,680
算 市債+一般財源	63,680	63,680

方針に関する決裁 種別()
有 () ・ 無

【事業の目的・必要性及び令和2年度実施内容】

緑あふれる魅力的な街をつくるためには、市民や企業と連携した取組が不可欠です。地域が主体となり、地域にふさわしい緑を創出する取組など、緑の創出・育成に積極的に取り組む市民や企業を支援し、市民の生活の身近な場所で、緑や花に親しむきっかけづくりを推進します。
また、第33回全国都市緑化よこはまフェアなど、これまで多くの市民や企業の協力で展開された各区での緑や花に親しむ取組を、引き続き推進します。

(1) 地域に根差した緑や花の楽しみづくり

緑や花に親しむ市民の盛り上がりを実現していくため、地域をはじめとする多様な主体と連携した緑や花に関するイベントの開催や、緑や花を育む活動の支援など、地域に根差した各区での取組や公園等での地域の花いっぱいにつながる取組を推進します。

(2) 人生記念樹の配布

多くの市民の皆様が緑をつくり、育むきっかけとなるよう、出生や入学、住宅の新築や購入などの人生の節目の記念に、希望した市民に、苗木を無料で配布します。

【実績及び今後見込み】

(1) 地域に根差した緑や花の楽しみづくり

	元年度見込	2年度見込	中計目標	3年度見込
18区で推進	推進	推進	72件	推進
地域の花いっぱい推進	推進	推進	-	推進

(2) 人生記念樹の配布 ※1款1項3目「市民や企業と連携した緑のまちづくり事業」との合計

	27年度実績	28年度実績	29年度実績	30年度実績	元年度見込	2年度見込	3年度見込
苗木の配布（本）	7,865	7,476	7,343	6,529	8,000	8,000	8,000

【事業費の内訳】

	元年度	2年度	差引	説明
(1) 地域に根差した緑や花の楽しみづくり	45,000	55,000	10,000	各区の実施計画に基づく増
(2) 人生記念樹の配布	8,680	8,680	0	
合計	53,680	63,680	10,000	

【事業スケジュール】

- (1) 地域に根差した緑や花の楽しみづくり：事業実施（通年）、区への事業説明（7月）、予算取りまとめ（9月）、実施報告（3月）
(2) 人生記念樹の配布：受付（通年）、配布（6月、11月）

【事業開始年度】

- (1) 地域に根差した緑や花の楽しみづくり：平成31年度
(2) 人生記念樹の配布：昭和52年度

【根拠法令】

- (1) 地域に根差した緑や花の楽しみづくり：都市公園法、横浜市公園条例、道路法、各区における「地域に根差した緑や花の楽しみづくり」実施要綱
(2) 人生記念樹の配布：横浜市人生記念樹配布事業要綱

【根拠とするデータ等】

横浜みどりアップ計画（計画期間：平成26-30年度） 5か年（平成26-30年度）の事業・取組の評価・検証（2019年6月）

本資料は、公正・適正に作成しました。	課長	係長	ガーデンシティ担当 ほか
	坂井和洋	大浦康史 ほか	松田真依 ほか

（様式②-1） 令和2年度事業計画書（局・統括本部）

[環境創造局 みどりアップ推進課]

事業名		
1	2	3
子どもを育む空間での緑の創出・育成事業		

特記事項	
中期計画-38の政策	
中期計画-行政運営	
中期計画-財政運営	
新規・拡充	

中期計画-38の政	
政策番号	主な施策番号

令和元年度 事業評価書 番号	
令和元年度 事業評価書 番号	

（単位：千円）

区分	金額	財源内訳				一般財源等	
		国	県			市債	一般財源
2年度	64,999	0					64,999
補助事業 単独事業		補助率	%				
元年度	63,186						63,186
増△減	1,813	0	0	0	0	0	1,813

歳出	28年度	29年度	30年度
予算 事業費	70,100	70,100	62,251
市債+一般財源	70,100	70,100	62,251
決算 事業費	46,699	55,852	52,201
市債+一般財源	46,699	55,852	52,201

歳出	3年度	4年度
予算 事業費	64,999	64,999
市債+一般財源	64,999	64,999

方針に関する決裁 種別()
有 () ・ 無

【事業の目的・必要性及び令和2年度実施内容】

次世代を担う子どもたちが緑と親しみ、感性豊かに成長できるよう、子どもが多くの時間を過ごす保育園、幼稚園、小中学校を対象に、施設ごとのニーズに合わせた多様な緑の創出・育成を進めます。緑の創出にあたっては、子どもたちと生き物とのふれあいが生まれるような空間づくりに取り組みます。

(1) 保育園・幼稚園・小中学校での緑の創出・育成

(このうち、1項では民間施設への助成事業を、2項では公立施設における緑化事業を実施します。)

○緑の創出

子どもを育む空間である保育園、幼稚園、小中学校において、園庭・校庭の芝生化や生き物とふれあい学べるビオトープの整備、花壇づくり、屋上や壁面の緑化など、多様な緑を創出する取組を推進します。

○緑の育成

創出した緑（園庭・校庭の芝生等）を良好に維持するとともに、多様な緑化を一層推進するため、維持管理費用の一部を助成します。また、芝生やビオトープ、花育等緑化に関する技術支援を行います。

【実績及び今後見込み】 ※1款1項3目「子どもを育む空間での緑の創出・育成事業」との合計

	27年度実績	28年度実績	29年度実績	30年度実績	元年度見込	2年度見込	3年度見込
民間保育所・小中学校等 緑化助成事業（件）	9	11	10	4	10	10	10
市立保育所・小中学校等 緑化事業（件）	23	25	10	33	10	10	10
緑の創出（か所）	32	36	20	37	20	20	20

【事業費の内訳】

	元年度	2年度	差引	説明
緑の創出	27,400	27,400	0	
緑の育成	35,786	37,599	1,813	実績を踏まえた増
合計	63,186	64,999	1,813	

【事業スケジュール】

○公立保育園・小中学校の整備：事業実施（通年）、事業説明会（8月）、予算取りまとめ（9月）、実績報告（3月）

【事業開始年度】

平成26年度

（平成21年度から実施している民有地緑化助成事業、公共施設緑化事業、公共施設緑化管理事業を一部統合して事業化）

【根拠法令】

緑の環境をつくり育てる条例、緑の環境をつくり育てる条例第4条の施行に関する基準

【根拠とするデータ等】

公立保育園・小中学校数： 約 600 校

（平成30年度神奈川県学校基本統計（学校基本調査報告書）統計表、横浜市子ども青少年局ヨコハマはびねすぽっと）

横浜みどりアップ計画（計画期間：平成26-30年度） 5か年（平成26-30年度）の事業・取組の評価・検証（2019年6月）

本資料は、公正・適正に作成しました。	課長	係長	緑化推進担当
	坂井和洋	井上雅人	古市真美

（環境創造局 - ）

（様式②-1） 令和2年度事業計画書（局・統括本部）

〔環境創造局 みどりアップ推進課〕

事業名
1 款 2 項 3 目
緑や花による魅力・賑わいの創出・育成事業

特記事項	
中期計画-38の政策	○
中期計画-行政運営	
中期計画-財政運営	
新規・拡充	

中期計画-38の政	
政策番号	主な施策番号
9	3

令和元年度 事業評価書 番号	
令和元年度 事業評価書 番号	

（単位：千円）

区分	金額	財源内訳				一般財源等	
		国	県			市債	一般財源
2年度	455,200	0					455,200
補助事業 単独事業		補助率	%				
元年度	408,460						408,460
増△減	46,740	0	0	0	0	0	46,740

歳出	28年度	29年度	30年度
予 事業費	30,000	30,000	30,000
算 市債＋一般財源	30,000	30,000	30,000
決 事業費	29,564	27,660	28,677
算 市債＋一般財源	29,564	27,660	28,677

歳出	3年度	4年度
予 事業費	455,200	455,200
算 市債＋一般財源	455,200	455,200

方針に関する決裁 種別() ・ 無

【事業の目的・必要性及び令和2年度実施内容】

第33回全国都市緑化よこはまフェアには、多くの人々が訪れ、緑や花が人を呼び込み、街の賑わいを創出しました。多くの市民が時間を過ごし、国内外から多くの観光客が訪れるエリアである都心臨海部などにおいて、これらの取組を継承し、公共空間を中心に緑や花による空間演出や質の高い維持管理を集中的に展開し、街の魅力や回遊性の向上・賑わいづくりにつなげます。

(1) 都心臨海部等の緑花による魅力ある空間づくり

みなどみらい21地区などの都心臨海部や、第33回全国都市緑化よこはまフェアの開催により多くの人で賑わった里山ガーデン（よこはま動物園ズラシア隣接）など、多くの市民が訪れる場所で、観光資源となっている公園や港湾緑地、街路樹、文化施設などの公共空間を相互に連携させ、地域や施設の特性に合わせた季節感ある緑花による場づくりを集中的に展開します。また、こども自然公園などの都市公園において、桜などの花木による花の名所づくりを進めます。あわせて、いつ訪れても緑や花で彩られた魅力ある街を目指し、創出した質の高い緑花を良好に育てます。

【実績及び今後見込み】 ※1款1項3目「緑や花による魅力・賑わいの創出・育成事業」との合計

	27年度実績	28年度実績	29年度実績	30年度実績	元年度見込	2年度見込	3年度見込
都心臨海部等の緑花による魅力ある空間づくり	都心臨海部緑花（4か所）、緑花の維持管理（4か所）	都心臨海部緑花（12か所）、緑花の維持管理（8か所）	都心臨海部緑花（1か所）、緑花の維持管理（13か所）	都心臨海部緑花（1か所）、緑花の維持管理（9か所）	推進	推進	推進

【事業費の内訳】

	元年度	2年度	差引	説明
緑花による魅力・賑わいづくり	408,460	455,200	46,740	花壇等維持管理費の増
合計	408,460	455,200	46,740	

【事業スケジュール】

事業実施（通年）、予算とりまとめ（9月）、報告取りまとめ（3月）

【事業開始年度】

平成26年度

【根拠法令】

緑の環境をつくり育てる条例、緑の環境をつくり育てる条例第4条の施行に関する基準

【根拠とするデータ等】

横浜みどりアップ計画（計画期間：平成26-30年度） 5か年（平成26-30年度）の事業・取組の評価・検証（2019年6月）

本資料は、公正・適正に作成しました。	課長	係長	緑化推進担当
	坂井和洋	井上雅人	石井久美子